



指導員協議会総会終了!!

平成21年度 東京都障害者スポーツ指導員協議会 総会報告



平成22年4月24日(土) 午後2時より

総合スポーツセンター集会室にて開催した。

司会 三浦卓也

1. 会長あいさつ

今日は、研修会ご苦労様でした。昨年は、アジアユースパラがあり、みなさんの協力が無事に終了することができました。ありがとうございました。また、今年は国体が千葉県であります。都大会もまもなく開催されます。平成25年には東京国体もあります。みなさんご協力お願いします。東京国体の準備委員会に当会が入っています。障害者スポーツの普及発展のためにご協力をお願いします。

2. 議事

定数の確認 359名(1663名の1/10で総会は成立。)

本日の総会出席者 36人

委任状 323名

定数に達しているので会は成立。

3. 議長選出

立候補なく石川さん指名

石川さんあいさつ

拍手で確認

4. 21年度事業報告

議事の最初は今年度の事業報告です。総務・研修・広報より今年度の活動報告を行いました。続いて今年度の決算報告を会計担当より行いました。

事業報告・決算報告についての質疑応答は、なし。

会計監査を安田さんより報告。

全体の拍手で承認されました。

5. 22年度事業計画と予算案

22年度の事業計画について、各担当より提案を行いました。

(広報担当)

22年度は、広報を2回発送する。ホームページを充実させ、タイムリーに活用できるようにしたいと思っている。

(研修担当)

今年度も4回実施する。研修参加者を増やす取り組みも考えていきたい。そのため、両障害者スポーツセンターとの協力も考えている。また、みなさんからのご意見もいただきながら計画していきたいと思っている。

(会計)

便りの発送が年2回となり、全会員に発送することになりました。

事業計画、予算案についての質疑応答では、なし。

22年度事業計画・予算案について全体の拍手で承認されました。

6. 役員を選出

(理事選出)

今年度は、役員改選があります。

例年、理事の名前を資料にして事前に作成していたが、おかしいのではないかという声もあり、今年度より変更しました。

理事立候補者：前田・植田・岡・三浦・佐野・江上・松浦・近藤・高山・矢本・近藤（清）・佐野（守）・荒井・島・神保・大森

理事選出について、全体の拍手で承認されました。

（監査選出）

今まで安田さん、遠藤さんをお願いしていた。今回、遠藤さんが体調不良のため監査ができず、代理を立てて行った。1名新たに選出したい。

立候補なく篠原さん指名

監査：安田・篠原

監査の選出について、全体の拍手で承認されました。

7. その他

会員の方からもっといろいろな情報がほしいという意見があった。皆さんからもご意見あればどんどん出してほしい。

（意見）

・初めて総会に出席した。なぜ会員増につながらないのか。研修会で自分たちの体験談などフィードバックする形がとれるといいのではないかと。

⇒今回の意見を初級指導員講習会の時にプログラムに反映できるか検討してもらえるように報告を行う。また、年4回行っている研修会の中でも検討していく。

（都スポーツ協会より報告）

色々な大会等にご協力いただき感謝している。都大会は、昨年より多い募集があった。ご協力お願いします。また、東京国体も控えている。みなさんの協力をお願いします。

（前田会長より報告）

- ・資料として、総合スポーツセンターの山川さんが書いたものを紹介。
- ・重度障害者の方にかかわる時に難しいと感じることが多いと思います。その時は、植田さん、松浦さんにぜひ聞いてください。これからもみなさんの協力をお願いします。

8. 閉会あいさつ

植田副会長

東京国体に向けて準備が進んでいる。みなさんの協力が必要です。よろしくお願いします。

第11回東京都障害者スポーツ大会始まる!!

今年も皆様のご協力をお願いいたします！！

活動報告

去る6月5日(土曜日)、駒沢オリンピック公園総合運動場で第11回東京都障害者スポーツ大会陸上競技(身体・精神部門)が行われました。この大会では毎年大勢の我々指導員協議会の仲間が、様々な場面で運営をサポートしています。中にはあまり競技を見ることもままならない場での「縁の下の力持ち」に徹して下さる方も多くいらっしゃいます。すべての力の結集で大会が無事終了できましたこと、皆様のご協力に対し心より感謝申し上げます。



さて種目の中に、スラロームと音源走(視覚部門の50m競走)という競技がありますが、皆さんはご覧になったことがありますか？この2種目は障害者スポーツ特有の競技ということもあり、毎年我々指導員協議会のメンバーが中心となって競技運営を行っています。

今回のスラロームは、コース設営時にちょっとしたトラブルがありました。コース上に並べる旗門の中に、非常に軽いものがかつ含まれていることが判明。ペットボトルボーリングを思い浮かべていただくとわかりやすいと思いますが(空のボトルは倒れやすく、水の入ったボトルは倒れにくい)、軽量の旗門では少し車いす等が触れただけですぐに倒れてしまい、このままでは公平な競技が行えません。【ルール上は「旗門の構造は転倒させるために最上部に200g以上の力が必要な円筒」とある】しかしながら、そこは海千山千の我がメンバー。U副会長の号令一発、幅跳びの砂場から砂を調達、手際良くその砂を円筒に入れ、事なきを得ました。事前準備には課題が残ってしまいましたが。。。



音源走は、今回スターティングブロックを使用する選手が増えたことに驚きました。それだけレベルが上がって来ています。このレースは8レーンを一人だけで走るタイムレースで、ゴール近くで鳴らされるハンドマイクの音に向かって走ります。選手はまっすぐ走ることが難しいため、コー

スの両側に我々サポーターが並び、コースアウトしてしまいそうな時は、声をかけるなどしてゴールへと誘導します。選手たちの走力はもちろんですが、見えない中を全速力で走るその勇氣にいつも感動させられます。私たちがコース周辺で安全を確保していることへの信頼感があるからこそその勇氣だと思います。その信頼感を裏切ることのないように、きちんと1レース毎に集中をして、その勇氣に応えていかなければならないと、今さらながら心新たに強く感じた大会でした。 協議会理事 H・J



理事会報告

平成 22 年・第 3 回理事会報告

日時・場所： 7 月 28 日（水）7 時～ スポーツ協会

参加者：前田、岡、島、秋山、矢本、神保、高山、井上、佐野（里）、松浦、三浦（記録）

欠席：植田、佐野（守）、江上、大森、荒井、近藤き、近藤（和）

【会長あいさつ】先日スポーツ協会との懇談会を行った。お互いの連携の必要性について再確認した。

<報告事項>

1. 指導者協議会 特になし

2. 指導部会 高山 特になし

3. 研修部会

①次回全国研修（2 月 26 日～27 日）の打ち合わせを 8 月 9 日～10 日に行った。

②ステップアップ研修 8 月 28 日～29 日 戸山サンライズにて

4. 関東ブロックの動き

①9 月 3 日幹事会開催 都スポーツ協会で

②関東ブロックから研修部員を選出。松浦理事を提案

③実践報告会 11 月 13 日～14 日ハンドサッカーなどの報告（予定）

5. 東京都障害者スポーツ協会のうごき

高山：都大会メインのとりくみが終了、千葉（国体）に向けての準備がスタートした。コーチとして参加するのは島理事。

7 月 29 日全国大会の実行委員会が本格スタート。スポーツ振興局へ

多摩障害者スポーツセンターでフォローアップ講習会 9 月 23 日祝日

矢本：納涼祭でたこ焼きを行う。

<協議事項>

1. 各部会から

1) 総務部会：

・次年度の総会は平成 23 年 4 月 23 日多摩障害者スポーツセンターで行う（予定）

・11 月 13 日実践報告会の終了後、懇親会開催

2) 研修部：11 月 13 日ハンドサッカー

3) 会計・事務局：ホームページの更新と内容の見直しを行う。（総務で検討）



次回理事会 9 月末の予定

会員の皆さんの活動報告

私は 2008 年秋、大学 3 年生の時に社会福祉士の実習で 1 ヶ月間、東京都多摩障害者スポーツセンターでお世話になりました。

実習を終えてからは、体育会のテニス部に所属してこともあり、なかなかボランティア等に参加出来ていませんでしたが、今回ショートテニス大会に久々に参加させて頂きました。

久々にボランティアとして参加させて頂いて、私自身楽しかったです。正直、皆さん私のことを覚えているか、不安だったのですが、多摩障害者スポーツセンターの職員の方々・ボランティアの方々・利用者の方々、今まで来ていなかった期間がなかったみたいに自然と受け入れて下さいました。そのことがとても嬉しかったです。

また、ショートテニス大会では審判・ボールパーソンとして参加させて頂いてる私の方が緊張して



しまうぐらい白熱した試合が沢山ありました。私も幼い頃からテニスをしてきたのですが、テニスといったスポーツはこういうスポーツだ！という固定観念に今まで縛られていたのだと改めて痛感しました。どういった障害があろうとも、テニスは楽しめる。人それぞれ持っている個性は違います。その方の良いところを伸ばす。そして、その中でも競技スポーツとしての勝負の厳しさが刺激的でした。

本当に学ぶことが多い一日でした。また、ボランティアに行きたいと思います。(E)

今回のショートテニス大会では、主に審判をさせて頂きました。基本的に審判の指示で全体が動くので、カウントミスやトラブルが起きないかどうか、正直とてもハラハラしていました。また、全盲・弱視の部では選手が“音”を頼りにプレイしているので、主審をすると同時に常に選手の立場に立ち周りの音に注意を向けるという難しさを感じました。

一方、知的の部ではボールパーソンからボールをもらおうと、その場ですぐにボールを打ってしまう人が多く、サーブの順番や立ち位置の誘導が間に合わず混乱する場面も多々ありました。そのため、主審の指示だけではなく周りのスタッフとのチームワークがいかに大切であるかということを知りました。このような審判をする機会はなかなかないので、審判の難しさややりがいというものを感じることができ大変良かったと思います。

審判以外に全体の試合を見ていると、選手の表情やプレイしている姿は人それぞれで、その選手にしか持っていない“自分らしさ”を見ることができ、スポーツの楽しさを感じる事が出来ました。また、選手の中には、ボールがなかなかコートに入らずポイントにならない方もいましたが、コートに立つ喜び・ボールに触れる楽しさ・ラケットを振りまわすことも立派なテニスだと私は思いました。

最後になりますが、このような素晴らしいショートテニス大会が行なわれたのは、たくさんの方が集まってこそ出来たものなので、これからも人と人との繋がりを大切にしていきたいと思いました。(M)



事務局からのお知らせ

昨年度の事業の一つである「第 4 回障害者スポーツ指導員協議会研修」が 3 月に行われました。その活動報告をホームページに掲載してあります。ご覧ください。

<http://www.tcsid.jp/activity/4kenshu.pdf>

平成 22 年度東京都障害者スポーツ指導員協議会役員を紹介します。

会長：前田康博 副会長：植田敏郎、岡睦美

総務：植田敏郎、三浦卓也、松浦孝明、近藤和夫、矢本敏実

研修：神保秀久、大森裕美、江上郁子、高山浩久、佐野守、井上實、岡睦美

広報：秋山なるみ、島良紀

会計：佐野里子、近藤清子

事務局：前田康博、岡睦美、秋山なるみ、井上實



編集後記

今年の夏は記録的な酷暑で今までの日本では考えられないような気温 35℃以上が続き、30℃の日は涼しいと感じてしまうほど体幹が異常をきたし一体この地球の異常気象はどうなってしまうのか不安がよぎるほどでした。多摩 SC では水泳記録会が行われ大勢の方が参加していました。10 月以降は全国障害者スポーツ大会、日本障害者水泳選手権大会と大きなイベントが目白押しです。長期予報によると 11 月まで暑さが続くとか…政治といい、経済といい、天候といい何か変ですが、私たちは負けずに元気に頑張っていきましょう。(O)

